

広告



日本の食の魅力を次世代につなぐ

「Let's! 和ごはんプロジェクト」始動!!



和食文化がユネスコ無形文化遺産に登録され、日本の食文化に対する世界からの注目度は高まっている。「日本の食の魅力をオールジャパンで国内外に発信するため、官民協働のプロジェクト「Let's! 和ごはんプロジェクト」がスタートした。



農林水産大臣 齋藤 健氏

「和食は海外からも大きな関心を得ている。日本国内でも再び注目を集めている。海外で展開される日本食の売上額は約13年連続で約5万店に拡大し、約12万店と約2倍に拡大した。また、イノベーションや海外での旅行消費額なども13年時から約3倍に増加している。日本の食は国内外に展開する好機を迎えている。

和食は海外からも大きな関心を得ている。日本国内でも再び注目を集めている。海外で展開される日本食の売上額は約13年連続で約5万店に拡大し、約12万店と約2倍に拡大した。また、イノベーションや海外での旅行消費額なども13年時から約3倍に増加している。日本の食は国内外に展開する好機を迎えている。

ある反面、実際には「手間がかかる面倒」と敬遠する傾向が強い。15年に農林水産省が実施した「食育に関する意識調査」によると、家庭で受け継がれてきた料理や作法などの和食文化を次世代へ伝える人の割合は約42%にとどまっている。働き方の多様性が高まる中、家事の簡便化も大きな課題だ。

子どもたちや子育て世代に、手軽に健康的な「和ごはん」を。プロジェクトの参加企業は食品製造業者、流通業者、中食・外食業者に加え、テレビや調理家電など食に関わる事業者など、分野やジャンルも幅広い。行政が一体となり、子どもたちや忙しい子育て世代に対し、身軽な「和ごはん」を健康を増やす機会を増やそうという目的の取り組みを推進する。

「和食をもっと身近に存在に」をテーマに、企業から参加したプロジェクトメンバーが、和食の魅力を伝える活動を行う。和食の魅力を伝える活動を行う。和食の魅力を伝える活動を行う。



農林水産大臣とプロジェクト検討アドバイザー（左前より久米洋子氏、堀内千津子氏、鈴木理子氏、藤田裕美氏、左後より齋藤武志氏、平田重紀子氏、辻本愛さん、遠藤直子さん）

プロジェクトメンバーの活動



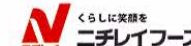
プロジェクト関連スケジュール

Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes '和食文化ユネスコ無形文化遺産登録5周年イベントの開催' and '和食文化のユネスコ無形文化遺産登録日'.

当の開発販売、時短になる調理方法を動画により分かりやすくインターネットで配信するなど、それぞれの本来を通じた活動を推進する。プロジェクトの立ち上げから関わる小売店の検討アドバイザーは「食文化は日々の食生活の中で時間をかけて培うもの。様々な角度から消費者に継続的な和食の魅力を発信していきたい」と役割の重要性を語る。

「和食をもっと身近に存在に」をテーマに、企業から参加したプロジェクトメンバーが、和食の魅力を伝える活動を行う。和食の魅力を伝える活動を行う。

私たちは「Let's! 和ごはんプロジェクト」を応援します!



和食文化の継承につなげていくために、Let's!和ごはんプロジェクトメンバーの参加を募集しています! http://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/culture/wagohan_project.html